

# 「文集 おかぞき」表記上の注意について

## 一 漢字の使用について

(一) 小学校においては、原則、各学年の配当漢字の範囲内での使用とするが、児童が配当外の漢字（未習の漢字）を用いて表現している場合は、それを認めることとする。ただし、配当漢字（既習の漢字）を平仮名で表記しており、違和感が生じて読みにくい場合は、漢字表記に改める。

※ 既習漢字の使用により、違和感が生じて読みにくい熟語については、平仮名に統一する。

【例】「と中」↓「とちゅう」 「しよ」↓「いっしよ」 「大じよう夫」↓「だいじようぶ」

(二) 中学校においては、原則、常用漢字（平成二十二年内閣告示第二号）内での使用とする。常用漢字を平仮名で表記しており、違和感が生じて読みにくい場合は、常用漢字の表記に改める。

(三) 小学校・中学校ともに、人名・地名などで、常用漢字以外を使わざるを得ない場合は、それを認めることとする。

(四) 以下のものについて、漢字使用は小学校においては配当漢字の範囲内とし、平仮名使用は小中ともに次のようにする。

① 次のような代名詞は、原則として漢字で書く。

【例】俺 彼 誰 何 僕 私 我々

② 次のような副詞・連体詞は、原則として漢字で書く。

【例】大いに 必ずしも 更に 実に 少なくとも 既に 全て

絶えず 直ちに 例えば 次いで 初めて 全く 最も 来る（きたる）

※ ただし、次のような副詞は、原則として平仮名で書く。

かなり あまり おそらく おそらく たいして はたして ふと やはり よほど

③ 次のような接続詞は、原則として平仮名で書く。

【例】および かつ したがって ただし ならびに また または もしくは

④ 助動詞・助詞は、平仮名で書く。

⑤ 形式名詞・補助動詞は、平仮名で書く。

【例】のとき（○時の流れ） ことが ところが ところで ように とおりに のころ  
歩いていく 走ってくる しくしてみる しくしてください

⑥ その他 間違えやすい漢字使用について

【例】挨拶・曖昧【↑漢字表記 いちばん（一番目は・いちばん好き） もつ（荷物を持つ）・目標をもつ）  
きく（講義を聴く・道順を聞く・薬が効く） たち（友達・私たち）  
かける（眼鏡を掛ける・時間をかける・話しかける）

※ 「ひきる」「ひらく」は、原則として平仮名で書く。

⑦ 数値・単位の表記

【生活作文】五百五十キロメートル 【説明文】五五〇km

## 二 片仮名・記号の使用について

(一) 外来語・擬音語は、全学年とも片仮名で書き、擬態語は平仮名で書く。

【例】間違った例 ゴミ（←）み ドキドキ（→）ぎぎぎき ビックリ（↓）びっくり など

(二) 英語の表記や記号は使用しない。

【例】使用しない記号等 「ー」「・」「・」「ー」（片仮名の場合は使用する）「あ」 など

×おーい／＼おうい ×ああ／＼ああ ×えーっ・ええっ／＼ええっ

### 三 かぎ括弧など

- (一) 会話文の書き方は、教科書に従う。(小学校と中学校で違うので注意する。) ※左記参照
- (二) 内言の( )は使用しない。(「も使用せず、そのまま書く。)
- 例 私は、どうしたらわかってもらえるのだろうかと思うたが……

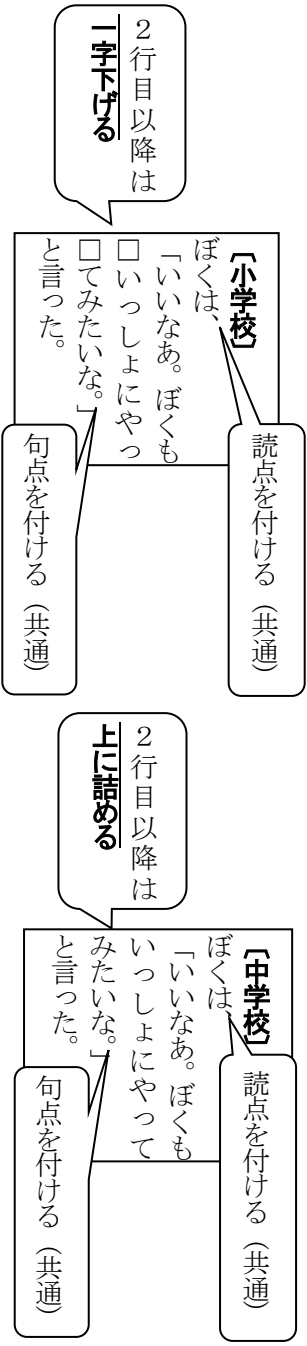
- (三) 作文の一行目から会話文で始まる場合、一字下げることなく書き始める。
  - 例 ○ 「いいなあ。ぼくもいっしょにやってみたいな。」  
と言った。
  - × □ 「いいなあ。ぼくもいっしょにやってみたいな。」  
と言った。

### 四 詩について

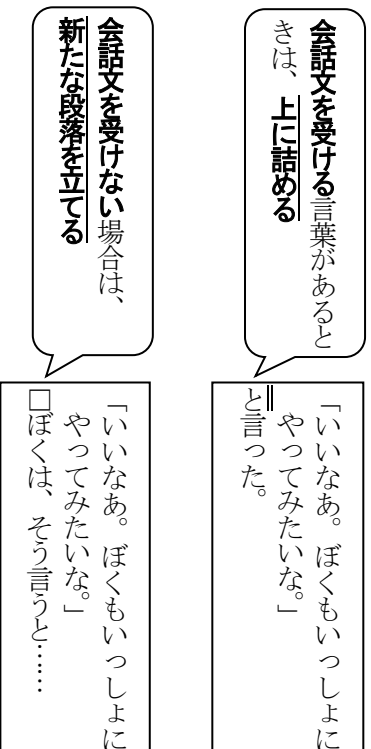
- (一) 表記については作文に準ずるが、意図的に表記の方法を変えている場合は、それを認めることとする。
- (二) 改行、句読点の使用については自由とする。ただし、よく吟味する。

## 会話文の書き方(統一事項)

### ① 会話文の書き方(小学校と中学校で異なる)



### ② 会話文の受け方(小学校と中学校で共通)



会話文を受けない場合は、  
新たな段落を立てる。

「いいなあ。ぼくもいっしょに  
やってみたいな。」  
□ぼくは、そう言う……

会話文を受ける言葉があると  
きは、上に詰める

「いいなあ。ぼくもいっしょに  
やってみたいな。」  
と言った。

※ 岡崎の作文指導の集大成としての文集なので、**表記については細心の注意を払いたい。**

※ 指導者は、表記についても十分指導する。各学校で多く先生の目を通し、校正する。また、**必ず国語**

**主任が最終点検を行う**ようにし、文集の校正段階で訂正がないようにする。

※ 表現について不適切と思われるものについては、本人と相談した上で訂正する。ただし、その作品の  
よさ、作者らしさを損なうような表現の変更は行わない。

※ 病気や家族のことなど、個人情報に関わる表現がある場合には、保護者の同意、校長の確認を  
得る。